

一茶ゆかりの里四季の俳句会

選者 志やくなげ俳句会 高野 閑林 先生

一般の部 (令和六年七月〜九月分)

特選天 夏めくや鏡と話す美容院

長野市 浦野 スミ子

美容院では美容師さんとの会話は鏡の顔を見ながらになります。それを「鏡と話す」ととらえたのがユニークです。気候も暖かくなり美容院での会話が弾んだことでしょう。

特選地

五千歩をほめられている敬老日

愛知県 武山 明彦

敬老会で健康の秘訣などを聞かれたんでしようか。「私は毎日五千歩歩いています。」の声に「すごいね。」の声。元気な皆さんの次が想像されます。

特選人

香炉灰篩ひ均らせる盆仕度

群馬県 篠原 庄治

香炉とは香を焚くのに用いる器です。お盆が近づいて来ると仏壇の掃除なども欠かせません。香炉一つにも心を込めて準備されておられる様子が中七によく表れています。

入選

ぐいぐいと乳吸う嬰や丸き汗

東御市 岩下 恵美子

入選

真夏日や七味缶振る二度三度

中野市 久保 広二

入選

入院す西瓜きままに畑を這ふ

群馬県 滝澤 照香

入選

盆帰省孫子同志でかくれんぼ

長野市 千原 光弘

入選

青い目も席に侍って月の宴

三重県 西尾 泰一

入選

汗と泥九人で挑む延長戦

東御市 滝澤 ますみ

こどもの部 (令和六年四月〜九月)

特選

鬼ごっこ秋風にのり逃げ切るぞ

東京都 牧野 楓

校庭での休み時間でしょうか。秋風の吹く中、みんなが鬼ごっこを始める事になった時の張り切っている気持ちのよく表れたりズミカルな句です。

特選

スイカわりみんなのヒントたよりだな

東京都 浄徳 やまと

目隠しをされ、回されて、さあスタート。この場面で頼りになるのが、周りの人の応援のヒントですね。ヒントを聞きながらそろりそろりと棒を構えて進む姿が想像されます。

入選

コオロギが迷子になって鳴いている

東京都 野田 蒼人

入選

歯がぬけて少し変かな夏の顔

東京都 石渡 小春

入選

風鈴の音が私をねむらせる

東京都 有賀 羽美